

マナーとルールは「人間力」の第一歩

文部科学省後援

マナーキッズ®プロジェクトのご案内

体育・道徳融合授業開催で “学校・幼稚園が変わります”

マナーキッズ®プロジェクトは、
スポーツや文化活動を通じ、日本の伝統的な礼法を体験し、
＜体・徳・知＞バランスのよい子どもを育てるNPOです。

44都道府県
75,000人以上が
参加!

(幼稚園児・小学生児童)

事例報告
「規律正しい児童は
学力も大きく
向上する」

プログラムは、子どもの体力・運動能力の低下に歯止めをかける
＜体育＞、挨拶・礼儀作法の基本的マナーとスポーツマンシップ
を習得させる＜徳育＞、運動で知性を育む＜知育＞を考慮して
組まれており、既に実施した全国各地の幼稚園・小学校から高い
評価を得ています。

♡ 媒介

- 小学校
マナーキッズ®ショートテニス教室
- 幼稚園
マナーキッズ®親子でのひらテニス教室



←ショートテニス用ラケット
↓でのひらテニス用ラケット



♡ 講師紹介

鈴木 万亀子 (小笠原流礼法常任理事 本部教授 総師範)

小笠原流惣領家32世忠統公に仕え、的伝総師範を賜る。
玉川学園女子短期大学にて10年、講師を歴任。現在、中学校3校の道徳
講師を務める。霞会館、その他において後輩を育成するかたわら、
警視庁出版物執筆、映画「たそがれ清兵衛」「武士の一分」その他、TV
ドラマで所作指導。小笠原流茶道古流、山田流箏曲、華道も教授し、
企業研修指導も行う。
著書:「お母さんのための子どものしつけとマナー」(C&R研究所発行)

田中 日出男 (認定NPO法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長)

平成8年マナーキッズプロジェクトの「きっかけ」となった早稲田大学
庭球部小学生テニス教室を開始。早稲田大学庭球部主将、三菱化学
株式会社常務取締役、江本工業株式会社取締役社長を経て、平成16年
4月、財団法人日本テニス協会マナーキッズテニスプロジェクトの実験
を開始。平成17年4月、同プロジェクトディレクター、平成19年6月から
NPO法人マナーキッズ®プロジェクト 理事長、インパクトコンサル
ティング顧問。

♡ 後援・協力・特別協賛・協賛・賛助

後援

文部科学省

公益財団法人日本体育協会(マナーキッズ®スポーツ教室)
公益財団法人日本オリンピック委員会(第7回文部科学大臣杯マナーキッズ®テニス全国小学生団体戦)
財団法人日本テニス協会(マナーキッズ®ショートテニス教室)
財団法人日本ソフトテニス連盟(マナーキッズ®ショートテニス教室)

協力

小笠原流礼法 鈴木 万亀子 総師範
社団法人日本テニス事業協会(マナーキッズ®ショートテニス教室)
公益社団法人日本プロテニス協会(マナーキッズ®ショートテニス教室)
NPO法人日本シニアテニス連盟(マナーキッズ®ショートテニス教室)
日本女子テニス連盟(マナーキッズ®ショートテニス教室)

特別協賛

MUFJ 三菱東京UFJ銀行

SPORTS AUTHORITY

協賛

東京中央 ロックマーケティング | 住友コム | ソニー生命 | hat 日本児童教育振興財団
TEIJIN | 三菱商事 | YASKAWA | KDDI | 第一学習社
YSC | ANA | YONEX | DUNLOP | SYMONS

賛助

貴教王子 ライオンズクラブ | 三菱化学 | 人形町 ロックマーケティング | 「はなはな」運動 豊後市児童支部 | MITSUBISHI 三菱電機 Changes for the Better | 三菱地所
TENNIS AZAMINO LAW | IMPACT | 西ジェイエスエス | TOP Inflow Stage
GP 株式会社 | NAJH | prince | REC | 藤下建設工業 株式会社 | ELECOM

「この事業は財団法人ヨネックススポーツ振興財団の助成を受けて実施しています。」

(平成24年 2月 1日現在)

♡ 体育・道徳融合授業 他 申込先、お問合せは



認定NPO法人
マナーキッズ®プロジェクト

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北3-22-3 デルコホームズ4階

TEL: 03-3339-6535 FAX: 03-6426-1580

E-mail: office365@mannerkids.or.jp

URL: http://www.mannerkids.or.jp/

マナーキッズ

検索

裏面へ

♡ 「規律正しい児童は学力も大きく向上する」—「マナーキッズ」を「市民科授業」に取り入れて— 品川区立浜川小学校 校長 矢田 雅久

学力向上の手立てとして、学習規律、生活規律の徹底。朝、昼の15分間の帯の時間や、パワーアップタイム(補修学習の時間)、習熟度学習の工夫。等さまざまな事柄に取り組んでいる。全校朝会や児童集会はもちろん、授業の最初と最後の挨拶でも、言葉を言う前から頭を下げて挨拶するという、マナーキッズで学んだ礼法を様々な場面で実践し定着を図っている。その結果、CRT(学力定着度調査)では、平成21年度と平成22年度のを比較すると、21年度に実施していない1年生を除いた全学年で大きく向上している。規律の定着と学力向上について、中学年以上の児童を対象にして実施したアンケート調査の結果でも、学習規律や生活規律が身につけている児童、または、意識して実施しようとしている児童は、身につけていない児童、意識していない児童より、この一年間で大きく学力が向上していることが分かった。

♡ 開催小学校からの反響

挨拶する児童の比率が大幅アップ (東京都杉並区立三谷小学校)

子どもの「以前から挨拶している」割合は、平均36%であったが、「よくするようになった」「少しするようになった」という挨拶の質が向上した子どもの割合が平均54%と合計で90%に達した。

教師の意識・指導が変わった (青森県八戸市立新井田小学校)

- ・子どもの様子を見てすぐ叱るのではなく、「マナーはどうか?」「迷惑をかけていないかな?」というキーワードを投げかけ、考えさせるようになった。
- ・自分自身も「子どもの前できちんとした振る舞いをしなくては」と意識するようになった。
- ・全校生徒が鈴木総師範のお話を聞いたので、全校一貫した指導ができるようになった。「鈴木先生に教えていただいた立ち方をしてごらん」というだけで、638人の子どもたちが凛とした姿で立てるようになった。

子どもの意識が変わった (青森県八戸市立新井田小学校)

- ・授業の始めと終わりの挨拶では、教師の目を見て挨拶できるようになった。
- ・朝食をしっかり食べられるようになった。
- ・地域や校内ですれ違う時の挨拶がとてよくなった。
- ・明るい顔、場にあった声、腰の折り方など本当によくなった。

♡ マナーキッズ®プロジェクト研究 中間発表

筑波大学大学院人間総合科学研究科 大森 肇教授

受講した子どもたちは、全員がプログラムの前後で顕著な変化が見られることから、子どもたちの変容を客観的に捉えることが研究の目的。心理的な気分尺度測定の結果「マナーキッズ教室は、子供の感情を改善する。」ことが分かりました。「混乱・緊張、不安など」のネガティブな指標は低下、ポジティブな指標「活気」は上昇する中で、日本の伝統的な礼法を習得することが、大きな成果を挙げている一因と考えられます。

♡ メディア掲載



NHK「暮らしの中のニュース解説」



読売新聞



日本経済新聞

体育道徳融合授業の開催事例 (2時限=90分)



姿勢を正しく、相手の目を見ながら元気よく大きな声で自己紹介



小笠原流礼法の鈴木万亀子総師範により正しいお辞儀を練習



「よろしく願います」「ありがとうございます」と、繰り返し挨拶



マナーキッズ教室が終わると全員で後片付けと掃除



修了証書授与では、しっかり相手の目を見て「ありがとうございます」



教室の最後に、指導者全員に目を見て、お礼の握手

「マナーコミュニティ®」モデル市町村募集

子どもは「教えれば変わる」「教えれば挨拶できるようになる」「礼儀正しさのDNAは残っている」課題は、それが持続できるよう、家庭・学校・地域社会のフォローが不可欠。「マナーコミュニティ®」で商標登録を取得。町あげて「挨拶運動」(大都市では、1中学校学区の全小学校、全幼稚園他)を展開するモデル市町村募集。

「マナーキッズ」、「e-マナーキッズ」、「マナーコミュニティ」、「キャラクターの図形」(図形(ハート))は、認定NPO法人マナーキッズ・プロジェクトの商標登録です。